

第 17 章 年 表

1 主要年表

年 号	西 暦	主 な で き ご と
慶応 3 年	1867	・  阿部屋（あぶや）の通行屋に立花由松が定住。
明治 4 年	1871	・本府札幌の集落としてツイシカリに 対雁村 を設け、仙台涌谷領から農家 21 戸 76 人が移住、開墾に従事する。
5 年	1872	・対雁～札幌間道路（旧豊平川沿）開通。
6 年	1873	・涌谷領移民 2 戸を残して雁来に移り、跡地に榎本武揚が農場を開く。
8 年	1875	・樺太からの移民のため立花所有農地を買上し勸業用地とする。
9 年	1876	・樺太からの移民アイヌ 108 戸 854 人が宗谷を経て対雁に強制移住させられる。
10 年	1877	・対雁に樺太からの移住者授産のため製網所が新設され、同所内に教育所（現対雁小学校）を開く。
11 年	1878	・ 開拓使府令布達により村名を江別村として決定する（10 月 5 日）。
12 年	1879	・対雁に駅逓設けられる。
13 年	1880	・郡区町村編成法により江別、対雁両村戸長役場設置される。（明治 14 年から空知・夕張両郡戸長を所掌）。
		・対雁郵便局設けられる。
14 年	1881	・シノツプトに屯田兵 19 戸 81 人入地、篠津村を設置。・集治監御用船石狩～月形間航路就航。
15 年	1882	・小樽～幌内間に鉄道が開通し江別駅開設される。・江別川東畔に開成社入植。
		・篠津村の養蚕室で寺子屋教育始める（旧篠津小学校）。・樺太移民自立のため移民共済組合を設立（139 戸）。
16 年	1883	・幌向村開村に伴い対雁戸長が所掌する。
17 年	1884	・石狩川定期航路始まる。・江別駅前の兵村番外の小区画に商業を営むもの居住。・第 2 次江別屯田兵 75 戸 345 人入地。・樺太移民共済組合石狩札来へ事務所を移す。
18 年	1885	・第 3 次江別屯田兵 45 戸、第 2 次篠津屯田兵 30 戸、野幌屯田兵 138 戸入地、江別及び野幌両兵村を形成した。
19 年	1886	・第 2 次野幌屯田兵 87 戸、第 4 次江別屯田兵 28 戸、第 3 次篠津屯田兵 10 戸入地。・北越殖民社江別太に試墾入植「越後村」と称す。・両兵村に江東学校（現江別小学校）、江西学校（現江別第二小学校）を開設。
		・戸長役場を江別に移し、江別ほか 2 村戸長事務を扱う。・対雁の移住アイヌ間（在籍 260 戸、1,299 人）にコレラ、天然痘まん延死者多数を出す。
20 年	1887	・北越殖民社野幌に先道入植。・札幌警察署江別分署がおかれる。・兵村江別駅番外地、市街地の第一回払下げ。
21 年	1888	・市街第 1 次区画造成による貸付が始まる（江別市街、明治 23 年民間に一括分譲）。
22 年	1889	・野幌駅開設される。・幌向村の戸長事務を岩見沢に移す。
23 年	1890	・北越殖民社 204 戸野幌に入植。
24 年	1891	・乳用牛導入。・志分別で水稻の試作成功。・屯田兵予備役となり、兵村会を設ける。
		・江別太で煉化石を製造。・野幌に寺子屋（現野幌小学校）開設。
25 年	1892	・私立江別町小学校を市街で開校。
26 年	1893	・各屯田兵村に共有地（早苗別、第一、二原、浦篠津、大曲、麻畑など）を給与。
27 年	1894	・野幌御料林国有林となる。
28 年	1895	・各兵村員後備役となる。
29 年	1896	・篠津村より新篠津村が分村。
30 年	1897	・江別市街地大火、130 戸中 100 戸以上を焼失する。
31 年	1898	・幌向村育成尋常小学校幌向太分教場開設（現豊幌小学校）。・大曲（大麻）に私設教育所開設（現大麻小学校）。
		・江別消防組が創設。・篠津村第一原野簡易教育所開設（旧江北小学校）。
32 年	1899	・大火跡地と隣接地を併せ新江別市街（第 2 次）を造成。
		・江東小と江別町小を併せて萩ヶ岡に江別尋常小学校を開校。
34 年	1901	・幌向村の南 6 線以北を江別村に編入。
35 年	1902	・三原簡易教育所開設（旧美原小学校）。
36 年	1903	・江別川沿に舟運と鉄道を結ぶ人力軌道を布設、雑穀集荷活況を呈す。
39 年	1906	・町村制施行に伴い、江別、対雁、篠津の 3 村を併合して江別村（2 級町村制）となる。
41 年	1908	・明治 39 年に着工した富士製紙第 5 工場操業開始（現王子特殊紙(株)江別工場）。
42 年	1909	・江別村 1 級町村制施行。
大正 2 年	1913	・白石村（小野幌）との境界を一部変更する。・十二銀行江別に進出。
3 年	1914	・江別の市街地に初めて電灯が点灯された。・旧野幌中隊本部を 8 丁目沿に移設。
5 年	1916	・町制施行、江別町となる。戸数 2,389 戸、人口 16,732 人。
7 年	1918	・白石村（大曲）との境界を一部変更する。・私立西角山小学校開校（現角山小学校）。
8 年	1919	・榎本農場小作地開放。・早苗別で「石狩製鉄所」出鉄開始。

年 号	西 暦	主 な で き ごと
大正 9 年	1920	・石狩大橋竣工開通。
10 年	1921	・野幌原始林、特別天然記念物の指定を受ける。
11 年	1922	・夕張川切替新水路着工（昭和 11 年完工）。
12 年	1923	・石狩川対雁工区切替に着工（昭和 8 年完工）。
13 年	1924	・江別町章（現市章）を制定。
14 年	1925	・篠津兵村区解散。
昭和 2 年	1927	・石狩川定期航路休航。・野幌林業試験場伊達屋敷に新移築。・江当軌道開通。
3 年	1928	・開村 50 周年記念式典行われる。・町村農場石狩町より旧永山農場跡に移る。・江別競馬を飛鳥山で開設。
4 年	1929	・江別実科高等女学校開校。・第三尋常小学校開校（現江別第三小学校）。
5 年	1930	・夕張鉄道（栗山～野幌）開通。・普通選挙初の町議会議員選挙（定員 24 名）施行。・江別商工会発足。 ・石狩川渡船事故で 10 名死亡。
6 年	1931	・豊平川畔元江別丘陵で古墳様墳墓群発見。
7 年	1932	・9 月連続降雨のため市街地及び耕地に浸水被害甚大。町立実女、高等女学校となる。
8 年	1933	・篠津小学校浦篠津分教場開校（旧八幡小学校）。・町立高女、庁立となる。・豊平川新水路工事着工（昭和 19 年完工）。・富士製紙、王子製紙に吸収合併。
9 年	1934	・江別競馬四番通新設馬場で開催。・札沼線開通のため江当軌道廃業。・江別町市街 5 条通火災 23 戸焼失。
10 年	1935	・北海道電灯江別火力発電所設立。・字名及び地番改正が行われる。・石狩川汽船会社廃業。
11 年	1936	・天皇陛下野幌原始林大沢に行幸。・夕張川切替工事、国鉄切替工事竣工。
12 年	1937	・千歳町所在の町有林で製炭開始。・旧野幌中隊本部の移設跡地に、錦山神社を移す。 ・国道駅前から江別橋まで市内初の舗装工事される。
13 年	1938	・石狩川巴農場切替工事完了。・野幌兵村共有地の小作地開放。・江別競馬軍馬養成の方針により廃止。
14 年	1939	・消防組と防護団を併せ「警防団」を組織する。
15 年	1940	・対雁に工兵訓練所設けられる。・庁立青年修練場志分別に設けられる。
16 年	1941	・豊平川切替工事完了通水。
17 年	1942	・未開発原野の開発に着手。・興農義塾「野幌機農学校」（現酪農学園）を設置。
18 年	1943	・王子製紙工場が木製飛行機工場に転換。
19 年	1944	・都市計画法の適用を受ける（街区計画に着手）。・元江別の丘陵先端部に飛行場を造成。
20 年	1945	・2 次にわたって米軍の空襲を受ける。・東京世田谷から拓北農民兵として 32 戸が疎開。
21 年	1946	・王子航空機工場が北日本製紙工場として再建に着手。
22 年	1947	・江別第一中学校、江別第二中学校、江別第三中学校、江別第一中学校美原分校（旧美原中学校）、 江別第二中学校野幌分校（現野幌中学校）及び江別第三中学校篠津分校（旧篠津中学校）開校。 ・拓銀支店開設。・北日本製紙クラフト紙生産指定工場となり活況を取り戻す。 ・対雁工兵隊跡に引揚者住宅の建築を始める。
23 年	1948	・開基 70 周年記念式典並びに記念行事実施。・江別保健所が設けられる。・札幌国立病院江別診療所が設置される。 ・江別、機農、野幌 3 高等学校開校。・新野幌小学校開校。・教護会（のちの育成会）発足。 ・市内に 3 農協発足。・江別製粉工場設立。
24 年	1949	・都市計画区画整理により、元江別の一部が緑町、一番町となる。・札幌公共職業安定所江別分室開所。 ・下の月小学校開校。・江別太小学校開校。・酪農学園大学部設立され、翌年より短大開校。
25 年	1950	・町政だより（広報）発刊。・北海道工業試験場野幌窯業分場開設。・飛鳥山公園野球場及び陸上競技場造成、 第 1 回町民運動会開催。・北洋相互銀行（現北洋銀行）開設。 ・国勢調査の結果人口 3 万人を超える（31,647 人）。
26 年	1951	・江別商工会議所が創立。・国立江別診療所江別町に移管、町立病院となる（現江別市立病院）。 ・初の保育所「みどり」開所。・札幌開発建設部江別事業所開所。・篠津総合開発事業に着手。
27 年	1952	・国民健康保険事業開始（4 月）。・住民登録法施行による人口調査が行われる（7 月）。 ・石狩中央信用金庫開業。・第 1 回町民文化祭開催（11 月）。
28 年	1953	・江別大火、市街地中心部を焼失（5 月）。 ・義宮殿下町村牧場を見学（7 月）。・江別郵便局新局舎江別駅前に完成（9 月）。・江別電報電話局舎 4 条 5 丁目に完成（10 月）。 ・林業試験場豊平町に移転。・江別第三中学校八幡分校（旧八幡中学校）開校。
29 年	1954	・市制施行、江別市となる。人口 34,359 人（7 月）。初代市長に古田島薫平氏が就任（7 月）。 ・国道 12 号線江別橋永久橋に架橋（5 月）。・天皇・皇后両陛下下行幸（8 月）。 ・篠津地域総合開発世界銀行の融資採択。・豊平川新水路（現厚別川下流部）通水（9 月）。

年 号	西 暦	主 な で き ごと
昭和30年	1955	・札幌市との境界を一部変更(角山豊石)面積188.642km ² となる(4月)。 ・上水道工事着手(5月)。 ・産業会館完成(10月)。 ・国土地理院の改測により面積188.83km ² となる(10月)。 ・大火被災者のため元江別(今の弥生町)に公営住宅を建設(10月)。
31年	1956	・元野幌の北海道煉瓦火災で隣接坪松工場と林試住宅焼失(5月)。 ・飛鳥山陸上競技場第3種公認となり、全道学生陸上競技大会開催(6月)。 ・豊幌駅開設(11月)。 ・浄水場完成通水(12月)。
32年	1957	・林業試験場跡を農林省林木育種場として開所(4月)。 ・千古園を市公園として整備(4月)。 ・野幌窯業振興会設立(4月)。 ・元野幌の一部を野幌町と改める(7月)。 ・江別観光協会設立(7月)。 ・公益質屋開設(12月)。 ・母子寮完成(12月)。 ・高等看護学院開設(12月)。 ・NHK野幌大電力放送所完成(12月)。
33年	1958	・野幌屯田兵第二中隊本部北海道文化財に指定(4月)。 ・南美原揚水場完成(5月)。 ・公民館(旧中央公民館)オープン(8月)。 ・開基80年市制施行5周年記念行事実施(10月)。 ・酪農学園女子高校(現とわの森三愛高校)開校。
34年	1959	・江別高等学校屋体と校舎の一部を残し2,400m ² を焼失(2月)。 ・市内バス初運行(江別駅前～対雁市営住宅、5月)。 ・2代目市長に松川清氏が就任(5月)。 ・市工場誘致条例を設け適地に上江別中原、江別太を選定。 ・自衛隊の協力により二番通及び5丁目全線貫通幹線化を図る(9月)。
35年	1960	・新火力発電所建設に伴う坊主山遺跡の発掘調査(1月)。 ・酪農学園大学開校(4月)。 ・江別第三中学校角山分校(現角山中学校)開校。 ・小児マヒ猛威ふるう(6月)。 ・石狩川観光ラインに不定期船就航(8月)。 ・豊幌小学校健康優良校全道一となる(9月)。 ・江別高等学校新校舎完成(10月)。 ・農事有線放送開始(12月)。 ・江別ガス開業。
36年	1961	・初の市政功労者20名表彰(1月)。 ・江別市総合建設計画スタート(4月)。 ・国民年金スタート(4月)。 ・江別駅前国道、市道中央通舗装完了。 ・水害により全耕地の6割が浸水(7月)。 ・幌向川切替工事完了通水。
37年	1962	・交通安全都市を宣言(3月)。 ・町村敬貴氏藍受褒賞受賞(6月)。 ・行政事務改善北海道モデル都市となる(6月)。 ・全道防災大会開催(8月)。 ・江別小、豊幌小に学校給食開始(9月)。 ・上水道野幌地区に給水(10月)。 ・しょう紅熱市内に広がる(10月)。 ・電報電話新局舎完成、自動化になる(12月)。 ・江別火力発電所第1期工事完成(出力125kw、12月)。 ・江別市、野幌両農協により農事有線電話架設。
38年	1963	・江別屯田兵村財産区解散(2月)。 ・江別兵村記念館完成(5月)。 ・北海鋼機、北海道農材工業の工場建設始まる(9月)。 ・豊幌地区に簡易水道完成(11月)。 ・産米出荷10万俵突破(11月)。 ・元江別、元野幌の一部を区画整理、高砂町、向ヶ丘、錦町、幸町となる(12月)。 ・炭鉱離職者住宅完成(鉄筋4階13棟520戸、12月)。
39年	1964	・東野幌小学校開校(1月)。 ・野幌原始林、北海道自然森林公園化計画決まる。 ・道央新産業都市指定(4月)。 ・農業構造改善事業着手(6月)。 ・道営大麻団地起工式が行われる(計画人口27,000人、7,200戸、8月)。 ・北海鋼機(株)操業開始(10月)。 ・市制施行10周年記念式典が行われる(10月)。 ・町村敬貴氏、名誉市民第1号に選ばれる(10月)。 ・角山橋完成(12月)。 ・大麻団地第1期入居完了276戸(12月)。
40年	1965	・第1回江別福祉大会開催(7月)。 ・角山大麻内水排除機完成、集水面積角山769ha、元野幌1,011ha(10月)。 ・市立病院育ての親である佐川誠一氏の市葬行われる(10月)。 ・篠津運河再堀通水。 ・野幌原始林の森林公園造成始まる。 ・道立消防学校開校(12月)。
41年	1966	・広域商業診断行われる(1月)。 ・新野幌小学校廃校(3月)。 ・浅井学園北海道女子短期大学開校(4月)。 ・石狩川ゴルフ場オープン(4月)。 ・下水道事業着工(6月)。 ・江別太団地の分譲開始(6月)。 ・野幌屯田兵財産区解散(8月)。 ・あかしや保育所開所(10月)。 ・美原、篠津、八幡の3中学校を統合して江北中学校開校(11月)。 ・国鉄大麻駅開業(12月)。 ・野幌公民館オープン。 ・市役所新庁舎高砂町に完成移転(12月)。
42年	1967	・道立図書館開館(4月)。 ・全道ホルスタイン共進会開催(9月)。 ・野幌郵便局舎完成(10月)。 ・史上最高の豊作、産米出荷予約25万俵(10月)。 ・し尿処理場完成(12月)。
43年	1968	・江別市旗を制定(5月)。 ・野幌原始林が道立自然公園に指定(5月)。 ・札幌商科大学(現札幌学院大学)開校(5月)。 ・江別市開基90周年、市制施行15周年記念式典開催(6月)。 ・国鉄小樽～滝川間電化完成(8月)。 ・市立総合病院新築工事完成(8月)。 ・江別小学校前に第1号歩道橋完成(8月)。 ・江北小学校開校(8月)。 ・消防新庁舎(現教育庁舎)完成(9月)。 ・スクールバス運行開始(9月)。 ・精薄施設長井学園完成(10月)。 ・新石狩大橋完成(917.8m、10月)。 ・江別開拓記念像“不死鳥”庁舎前に建設(11月)。 ・大麻団地人口1万人を超える(11月)。 ・野幌屯田兵村記念館完成(11月)。 ・大麻出張所開所(12月)。 ・学校給食センター完成(12月)。 ・大麻中学校開校(12月)。 ・市民憲章を告示(12月)。
44年	1969	・豪雪のため国道12号線(豊幌地区)立ち往生(2月)。 ・名誉市民第1号の町村敬貴氏の市葬が行われる(8月)。 ・第2回道民スポーツ石狩大会開催。 ・大麻東小学校開校(11月)。

年 号	西 暦	主 な で き ごと
昭和45年	1970	・(株)江別振興公社発足(1月)・中央通買物公園実施(8月)・榎本記念公園完成(9月)。 ・北日本製紙、王子製紙と合併、王子製紙(株)江別工場となる(9月)・千歳所在の市有林売却(9月)。 ・第11回国勢調査の結果、世帯及び人口(63,762人)の伸率市部全道一(10月)。 ・豊幌に市内初の内水排除施設お茶の水機場完成(10月)・中島橋完成(10月)・豊幌1号橋完成(11月)。
46年	1971	・緑町ポンプ場完成(2月)・江別市第2期総合建設計画決定(3月)・福祉センター完成(4月)。 ・重兵衛渡し渡船廃止、江別鉄道橋着工(5月)・江別市勤労青少年体育センター完成(7月)。 ・野幌駅前広場完成(9月)・榎本公園に對雁百年記念碑完成(9月)・八幡小学校、篠津小学校に統合(9月)。 ・ゴミ収集手数料の無料化実施(10月)・高齢者医療費の公費負担制度発足(10月)。 ・市の花「菊」、市の木「ナナカマド」制定(11月)・大麻西小学校開校(12月)。
47年	1972	・東野幌青少年会館完成(1月)・青年センター温水プール完成(2月)。 ・皇太子殿下、同妃殿下「第7回あすをきずく青少年のつどい」(道女子短期大学)にご臨席のため行啓(2月)。 ・労働会館オープン(8月)・ゴミ粉碎処理工場運転開始(12月)。
48年	1973	・江別終末処分場完成(3月)・乳幼児医療の公費負担制度発足(4月)・土地開発公社設立(5月)。 ・市民会館オープン(5月)・老人福祉施設「静苑ホーム」完成(12月)。
49年	1974	・大麻公民館オープン(1月)・石狩東部広域水道企業団設立(4月)・北海道江別保健所錦町に移転(4月)。 ・公害防止条例制定(6月)・第1回農業まつり行われる(7月)・第1回市民まつり行われる(8月)。 ・史跡駅通の松を伐採(10月)・元野幌の一部が大麻栄町、大麻新町、大麻泉町に町名変更(11月)。
50年	1975	・夕張鉄道全面廃止(3月)・東野幌の一部が東野幌本町に、西野幌の一部が野幌若葉町に町名変更(7月)。 ・野幌老人憩いの家オープン(10月)・夜間急病診療所開設(12月)。
51年	1976	・石狩大橋架替工事完成(11月)・国道12号江別バイパス完成(11月)。
52年	1977	・中央小学校開校(1月)・米国グレシャム市と姉妹都市提携、併せて商工会議所姉妹提携(5月)。 ・あゆみ園開設(10月)。
53年	1978	・弥生保育所開所(2月)・對雁と角山と元江別の一部が工栄町に町名変更(3月)・大麻泉小学校開校(4月)。 ・江別市高齢者事業団発足(4月)・市民体育館オープン(5月)・江別郵便局舎完成(6月)。 ・市街化区域変更2,460haとなる(6月)・江別100年記念式典など各種行事実施(7月)。 ・高知県土佐市と友好都市提携(7月)・タイムカプセル埋設(10月)・野幌高等学校新校舎完成(12月)。
54年	1979	・大麻体育館オープン(3月)・古田島薫平氏、名誉市民第2号に選ばれる(3月)・大麻東中学校開校(4月)。 ・白樺保育所新築移転(4月)・上江別の一部を、上江別東町、上江別西町、上江別南町に変更(11月)。 ・市街地東光通東光橋完成(11月)・農村環境改善センターオープン(12月)。
55年	1980	・下の月小学校廃校(3月)・野幌中学校新築移転(4月)・元野幌の一部と野幌町の一部を、野幌松並町、 野幌末広町、野幌住吉町、野幌代々木町に町名変更(9月)・道立総合運動公園が西野幌下学田に設置決定 (9月)・大麻老人憩いの家オープン(10月)・野幌農村環境改善センターオープン(11月)。
56年	1981	・西野幌と文京台の一部が文京台東町、文京台南町に町名変更(1月)。 ・市立総合病院の財政再建計画承認(3月)・市立江別高等看護学院閉院(3月)・ごみ焼却処理場運転開始(4月)。 ・江別太中継ポンプ場運転開始(4月)・石狩東部広域水道企業団から受水開始(4月)・農村広場オープン (5月)・東野幌の一部を野幌東町に町名変更(7月)・元江別の一部を牧場町、元町、若草町に町名変更(11月)。
57年	1982	・角山小・中学校校舎完成(1月)・第1回スノーフェスティバル開催(2月)・総合社会福祉センターオープン (4月)・水道庁舎オープン(4月)・坊主山遺跡出土江別式土器56点を市指定有形文化財に(7月)。 ・豊幌地区に防災資材倉庫完成(7月)・江別駅前「ふれあいの滝」完成(9月)・湯川公園前面整備完成(10月)。 ・元江別の一部を元江別本町に、元野幌の一部を中央町に町名変更(11月)。 ・道立野幌総合運動公園の起工式(11月)・八幡内水排除機完成(11月)。
58年	1983	・グレシャム市ハイランドスクールとあかみや幼稚園・大麻泉小が姉妹園・校の提携調印(2月)。 ・新し尿処理場、最新処理で本格運転を開始(4月)・江陽中学校開校(4月)・マーガレット・ワイル グレシャム市長一行来江(5月)・友好都市土佐市の訪問団来江「大綱引き」等が行われる(8月)。 ・北海道縦貫自動車道開通、東西両インターチェンジ開業(札幌～岩見沢間31.9km、11月)。
59年	1984	・市立総合病院外来新棟完成(1月)・勤労者研修センターオープン(2月)・第1回青少年スポーツ 賞の表彰式(3月)・緑化推進条例制定(4月)・夜間急病診療所が市立総合病院に吸収(4月)。 ・野幌若葉小学校開校(4月)・道立大麻高等学校開校(4月)・機能回復訓練センター開所(7月)。 ・市制30周年記念の「ふるさと製品と観光展」、「市制30年展」開催(8月)・第1回ミス江別コンテスト開催(8月)。 ・初のグリーンコンサート錦町公園で開催(8月)・第6回全日本女子柔道56キロ級で渡部五月さん優勝(9月)。 ・麻の実児童センターオープン(11月)・消防署中央出張所新築移転(12月)。

年 号	西暦	主 な で き ご と
昭和60年	1985	<ul style="list-style-type: none"> ・野幌公民館新築移転 (12月)。 ・先端産業等誘致促進条例制定 (12月)。 ・江別市新総合計画スタート (4月)。 ・先端技術等研究施設の集積をめざすRTN構想スタート (4月)。 ・大麻の一部を大麻元町に、西野幌の一部を文京台緑町に町名変更 (4月)。 ・市外局番「011」化 (4月)。 ・市営牧野98ha (深川市) を確保 (6月)。 ・石狩川リバーセイリング始まる (6月)。
	61年	1986 <ul style="list-style-type: none"> ・第14回国勢調査が行われ人口9万人突破 (人口90,328人、10月)。 ・初のランドマークの設置 (12月)。 ・元江別の一部を見晴台に町名変更 (1月)。 ・版画家手島圭三郎さん'86イタリア・ボローニア国際児童図書展で特別賞 (3月)。 ・篠津、江北、美原小学校統合のため廃校 (3月)、北光小学校開校 (4月)。 ・住民情報漢字オンラインシステムスタート (4月)。 ・王子製紙(株)江別工場の専用鉄道廃止 (5月)。 ・東野幌の一部を東野幌町に町名変更 (7月)。 ・市営森林キャンプ場の完成 (7月)。 ・RTNゾーン第1号として雪印種苗(株)バイオ技術研究所が進出 (8月)。 ・市内初の公募美術展“市展”始まる (10月)。 ・国鉄高砂駅開業 (11月)。 ・江別～南幌を結ぶ江南橋完成 (11月)。 ・保健センターオープン (12月)。 ・国鉄野幌駅南口オープン (12月)。
62年	1987 <ul style="list-style-type: none"> ・国鉄大塚駅南口オープン (2月)。 ・市立総合病院の財政再建計画達成 (3月)。 ・文京台小学校開校 (4月)。 ・雪印種苗(株)技術研究所完成 (5月)。 ・大麻第3遺跡出土の土偶2体、市指定文化財に指定 (6月)。 ・江別市有価物リサイクルバンクオープン (8月)。 ・全国高等学校総合体育大会3競技行われる (8月)。 ・元野幌の一部を野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町に町名変更 (9月)。 ・第1回江別市都市景観賞表彰式 (11月)。 	
63年	1988 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回青少年文化賞の表彰式 (2月)。 ・八幡に新ごみ最終処分場開設 (4月)。 ・国体リハーサル大会開催 (8月)。 ・レッツ・イングリッシュ事業スタート (8月)。 ・救急医療情報システムスタート (10月)。 ・野幌郵便局舎野幌町に新築移転 (10月)。 ・東西野幌の一部が緑ヶ丘に町名変更 (11月)。 ・白樺通アンダーパス開通 (12月)。 	
64年 平成元年	1989 <ul style="list-style-type: none"> ・北電専用鉄道廃止 (3月)。 ・叢書＝江別に生きる第1巻「世田谷物語」刊行 (3月)。 ・健康管理データベース運用開始 (4月)。 ・RTNゾーンに北海道情報大学が開校 (4月)。 ・情報図書館オープン (8月)。 ・名誉市民である初代市長古田島薫平氏の市葬行われる (8月)。 ・コミュニティセンターオープン (9月)。 ・第44回国民体育大会＝はまなす国体開催 (9月)。 ・葬斎場オープン (10月)。 ・ふるさとふれあい推進基金条例スタート (10月)。 ・野幌8丁目商店街にれんが歩道が誕生 (11月)。 ・上江別に雇用促進事業団江別宿舎(80戸)完成 (11月)。 	
2年	1990 <ul style="list-style-type: none"> ・第二大麻体育館オープン (3月)。 ・気象情報オンラインシステム端末機の設置 (4月)。 ・情報図書館と市内中学校の情報オンライン化 (6月)。 ・「四季のみち」構想スタート (8月)。 ・野幌窯業百年記念式典 (10月)。 ・グリーンモール広場整備完了 (12月)。 	
3年	1991 <ul style="list-style-type: none"> ・アメニティ下水道通水式 (1月)。 ・北電江別発電所廃所 (3月)。 ・酪農学園大学附属高校・とわの森三愛高校統合 (3月)。 ・グリーンモール噴水通水 (4月)。 ・道情報技術研究所通信教育始動 (4月)。 ・郷土資料館オープン (4月)。 ・SCC国際交流センター完成 (6月)。 ・資源回収事業実施団体に奨励金交付開始 (7月)。 ・コンポスト購入助成開始 (7月)。 ・道女子短大-米エンディコット大姉妹大学提携 (8月)。 ・人口10万人達成 (11月)。 	
4年	1992 <ul style="list-style-type: none"> ・道立食品加工研究センターオープン (2月)。 ・町村牧場篠津へ移転開始 (3月)。 ・職業安定所新庁舎落成移転 (3月)。 ・野幌小学校特認校に指定 (4月)。 ・ふれあいワークセンターオープン (4月)。 ・陶芸の森構想実施計画まとまる (4月)。 ・スポーツ振興財団発足 (6月)。 ・「矢澤教育振興基金」設立 (6月)。 ・まちづくり論文入賞者決定 (7月)。 ・見晴台郵便局開局 (11月)。 ・RTNパーク第2工区「ファナック(株)北海道テクニカルセンタ」オープン (11月)。 ・グリーンモール完成 (学園通～2番通間、11月)。 	
5年	1993 <ul style="list-style-type: none"> ・第9回日本雪工学会開催 (1月)。 ・市消防本部新庁舎完成・緊急情報システム業務開始 (3月)。 ・(財)江別市水道サービス公社業務開始 (4月)。 ・中央中学校開校 (4月)。 ・上西晴治氏 (大麻栄町)「十勝平野」で伊藤整文学賞受賞 (5月)。 ・まちづくり100人会議開催 (6月)。 ・RTNパーク第2工区「(株)日本デジタル研究所札幌研究開発センター」オープン (9月)。 ・王子製紙と神崎製紙合併「新王子製紙」となる (10月)。 ・市役所第2・第4土曜日閉庁開始 (10月)。 ・花き栽培技術指導センターオープン (11月)。 	
6年	1994 <ul style="list-style-type: none"> ・山内倫子さん (野幌中3年) 第53回全国教育美術展で特選 (2月)。 ・江別市の「名木100選」決定 (3月)。 ・ガラス工芸館オープン (4月)。 ・市の人口北見市を抜き道内9位になる (4月)。 ・第46回北海道消防大会開催 (6月)。 ・市制施行40周年を迎える (7月)。 ・人口11万人突破 (7月)。 ・全国中学校選抜体育大会 (水泳・バレーボール) 開催 (8月)。 ・市役所の完全週休2日制スタート (10月)。 ・セラミックアートセンターオープン (11月)。 ・新総合計画後期基本計画「えべつ21・15万人都市プラン」策定 (12月)。 ・勤労者総合福祉センターオープン (12月)。 	

年 号	西 暦	主 な で き ごと
平成 7年	1995	<ul style="list-style-type: none"> ・江別訪問看護ステーションオープン（1月）。・対雁の一部、いずみ野に町名変更（2月）。 ・浄水場の高度浄水処理施設完成（3月）。・江別勤労者共済制度スタート（4月）。 ・いきいきセンターオープン（4月）。・屯田資料館オープン（4月）。・えべつ昭和史発刊（5月）。 ・江別市の人口（4月末現在）室蘭市を抜き道内8位に（5月）。江別市在宅福祉サービス協会発足（6月）。 ・元江別1遺跡土壌墓出土品（4,000点以上）、重要指定文化財に指定（6月）。 ・全国高校少林寺拳法大会組演武規定の部で大麻高校男女ともに優勝（7月）。 ・第1回えべつ北海鳴子まつり開催（8月）。・野幌グリーンモール完成（国道12号～湯川公園間全長920m、12月）。
8年	1996	<ul style="list-style-type: none"> ・記録的な大雪-8日17時から9日9時までの降雪量63cm（1月）。・消防署大麻出張所新庁舎で業務開始（2月）。 ・第3回石狩川サミット開催（2月）。・野幌小学校と江別高校の新校舎完成（3月）。 ・行政改革の基本方針「新行政改革大綱」発表（4月）。・萩ヶ岡児童センターオープン（4月）。 ・市内初の軽費老人ホーム「ケアハウスゆうあい」オープン（4月）。・江別国際センターオープン（7月）。 ・江別リサーチセンター開所。江別と中国、タイを通信衛星で結び「マルチメディア人材育成システム」の共同実験スタート（7月）。・第34回北海道障害者スポーツ大会開催（7月）。 ・第45回全道身体障害者福祉大会開催（7月）。・縄文時代の墓と見られる大量土壌墓「7丁目沢6遺跡」で見つかる（8月）。・ほくでん総合研究所が対雁の江別発電所跡地で開所（9月）。 ・新王子製紙と本州製紙が合併、「王子製紙(株)」が誕生（10月）。 ・江別インターネットコミュニティの実験運用開始（10月）。・市情報公開条例施行（12月）。 ・軽費老人ホーム「ケアハウスのぞみ」オープン（12月）。
9年	1997	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)江別市在宅福祉サービス公社が事業開始（4月）。・いずみ野小学校、立命館大学慶祥高校が開校（4月）。 ・知的障害者入所施設「えべつ明友荘」開所（4月）。・札幌圏総合防災訓練を北海道消防学校と江別高校跡地で実施（5月）。・ごみの分別収集モデル地区事業スタート（7月）。 ・王子製紙(株)江別工場が緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞（7月）。 ・市民文化ホール（えぼあ）大麻公民館オープン（10月）。・デイサービスセンター「あかしや」開所（10月）。 ・道内初の複数スクリーンのある映画館（シネマコンプレックス）などが入った大規模店舗が開店（11月）。
10年	1998	<ul style="list-style-type: none"> ・東野幌の一部があさひが丘に町名変更（3月）。・岩田政勝氏、江別市名誉市民に選ばれる（4月）。 ・行政手続条例施行（4月）。・森の子児童センターオープン（4月）。・江別市の人口が12万人突破（7月）。 ・江別市古墳群史跡に指定（9月）。・新江別市立病院オープン（12月）。
11年	1999	<ul style="list-style-type: none"> ・上江別小学校開校（4月）。・江別市ホームページが開設（6月）。 ・特別養護老人ホーム「ひだまり大麻」オープン（6月）。・特別養護老人ホーム「誠志苑」オープン（10月）。 ・特別養護老人ホーム「静苑ホーム」元野幌に新築移転（10月）。 ・道立埋蔵文化財センターオープン（11月）。・市役所庁舎西棟完成（11月）。
12年	2000	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人「やきもの21」誕生（2月）。・豊幌地区センターオープン（2月）。・資源物の分別収集開始（3月）。 ・リサイクルセンター運用開始（3月）。・道女子大が浅井学園大学と名称変更し共学に（4月）。 ・飛鳥山公園多目的広場開設（5月）。・野幌鉄南地区住民票等証明交付窓口開設（10月）。 ・豊幌の一部を豊幌花園町、豊幌美咲町、豊幌はみんぐ町に町名変更（10月）。
13年	2001	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきセンター「わかくさ」オープン（12月）。・保健センターが若草町に移転（12月）。 ・子育て支援センター「すくすく」オープン（1月）。・5つの農協が合併して道央農協が誕生（2月）。 ・大麻西地区センターオープン（2月）。・JR高砂駅新駅舎・歩道橋完成（2月）。 ・学校給食センター完成（3月）。・北海道林木育種場旧庁舎が文化庁の登録有形文化財に登録（8月）。 ・中央中学校男子バレーボール部全国大会優勝（8月）。・大麻駅バリアフリー化（12月）。
14年	2002	<ul style="list-style-type: none"> ・完全学校週5日制始まる（4月）。・江別市男女共同参画基本計画策定（6月）。 ・上江別の一部をゆめみ野東町、ゆめみ野南町に町名変更（10月）。 ・江別河川防災ステーションオープン（10月）。・環境クリーンセンター「くるりん」稼働（12月）。
15年	2003	<ul style="list-style-type: none"> ・野幌ひまわり児童センターオープン（1月）。・元町地区センターオープン（1月）。 ・野幌中学校がグレシャム市ゴードンラッセルミドルスクールと姉妹校提携（1月）。 ・えべつ市民健康づくり21策定（3月）。・江別アンビシャスプラザ開始（4月）。 ・特別職の専用車廃止による多用途車両（低公害車）導入（5月）。 ・住民基本台帳ネットワークシステム2次稼働開始（8月）。・土佐市との友好都市提携25周年記念式典開催（8月）。
16年	2004	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次江別市総合計画策定（3月）。・市制50周年記念式典開催（9月）。・台風18号による強風被害発生（9月）。 ・家庭ごみが有料化（10月）。・「江別市のれんが」が北海道遺産に選定（10月）。
17年	2005	<ul style="list-style-type: none"> ・「美原大橋開通」道央圏連絡道路美原バイパスが開通（3月）。 ・アートスペース「外輪船」オープン（7月）。

年 号	西 暦	主 な で き ご と
18年	2006	・指定管理者制度スタート（4月）。・市民活動センター「あい」オープン（9月）。 ・夜間急病センター移転オープン（10月）。・大麻の一部を大麻桜木町、大麻ひかり町に町名変更（10月）。
19年	2007	・江別市・新篠津村合併協議会設置（1月）。 ・江別駅前民間再開発事業の商業業務棟「えべつみらいビル」、福祉棟「江別ケアパークそよ風」竣工（11月）。 ・介護付有料老人ホーム「江別ケアパークそよ風」オープン（12月）。
20年	2008	・JR 野幌駅周辺鉄道高架橋工事本格着工（8月）。・江別市・新篠津村合併協議会廃止（9月）。 ・元野幌の一部を新栄台に町名変更（10月）。
21年	2009	・江別市と市内4大学、江別市商工会議所が「包括連携・協力に関する協定書」に調印（2月）。 ・第5次江別市総合計画後期基本計画策定（2月）。・男女共同参画推進条例（3月）及び自治基本条例制定（7月）。 ・全国健康福祉祭「ねんりんピック北海道・札幌2009」将棋交流大会開催（9月）。 ・新型インフルエンザの流行により市内小中学校で休校相次ぐ（10月）。
22年	2010	・局地的な大雪－16日17時からの24時間降雪量82cm（1月）。 ・認定こども園あけぼののびのび保育園オープン（4月）。 ・常陸宮妃殿下ご臨席のもと、第29回赤十字北海道大会開催（8月）。 ・第19回国勢調査が行われ、江別市において戦後初の人口減少（10月）。 ・鈴木章・北大名誉教授、ノーベル化学賞受賞（10月）。